

コメント

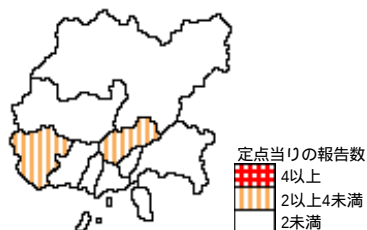
1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.08人と前週に引き続き増加しています。東区3.67人、佐伯区3.33人となっています。

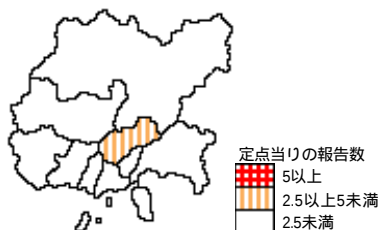
2. 流行性耳下腺炎

減少傾向で推移していますが、今週は定点当り1.13人と増加しています。東区3.33人となっています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



流行性耳下腺炎



4類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号	疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号
インフルエンザ	-	-	-		麻疹(注1)	3	0.13	-	
咽頭結膜熱	1	0.04	0.08		流行性耳下腺炎	27	1.13	0.71	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	1.08	1.17	↗	急性出血性結膜炎	-	-	-	
感染性胃腸炎	63	2.63	2.04	↘	流行性角結膜炎	7	0.88	1.25	
水痘	17	0.71	0.54	↘	急性脳炎(注2)	-	-	-	
手足口病	8	0.33	0.58		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	-	-	0.25		無菌性髄膜炎	-	-	0.86	
突発性発疹	29	1.21	0.75		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.29	
百日咳	1	0.04	0.04		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	
風疹	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.08	0.25						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1.1.1~1.5の増減
横ばい	→		殆ど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 成人麻疹を除く
(注2) 日本脳炎を除く
(注3) オウム病を除く

1類~4類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾病名	報告数	累積	備考
4	梅毒	1	4	男性(21歳)

4 類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群 溶血性 レンサ 球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパ ンギー ナ	麻疹 (注1)	流行性 耳下腺 炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	急性脳 炎(注2)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎 (注3)	成人麻 疹
報告数	広島市	第38週	-	-	10	42	9	23	2	25	-	10	-	21	-	7	-	-	3	-	-	-
		第39週	-	1	15	71	9	7	2	22	-	4	2	16	-	4	-	-	2	1	-	-
		第40週	-	1	26	63	17	8	-	29	1	2	3	27	-	7	-	-	-	2	-	-
定点 当り	広島市	第38週	-	-	0.42	1.75	0.38	0.96	0.08	1.04	-	0.42	-	0.88	-	0.88	-	-	0.43	-	-	-
		第39週	-	0.04	0.63	2.96	0.38	0.29	0.08	0.92	-	0.17	0.08	0.67	-	0.50	-	-	0.29	0.14	-	-
		第40週	-	0.04	1.08	2.63	0.71	0.33	-	1.21	0.04	0.08	0.13	1.13	-	0.88	-	-	-	0.29	-	-
	広島県	第38週	-	0.23	0.47	1.99	0.40	1.16	0.03	0.95	0.04	0.31	0.01	0.75	-	0.95	-	-	0.14	0.05	-	-
		第39週	-	0.19	0.39	2.51	0.39	0.84	0.09	0.76	-	0.17	0.07	0.65	0.05	0.75	-	-	0.10	0.19	-	-
	全国	第38週	0.01	0.08	0.38	2.09	0.50	0.71	0.12	0.78	0.01	0.01	0.36	0.02	0.65	0.02	1.20	0.01	0.09	0.15	0.01	0.01
		第39週	0.01	0.07	0.43	2.17	0.49	0.60	0.10	0.72	0.01	0.01	0.24	0.02	0.65	0.02	1.15	0.00	0.09	0.16	0.01	0.00

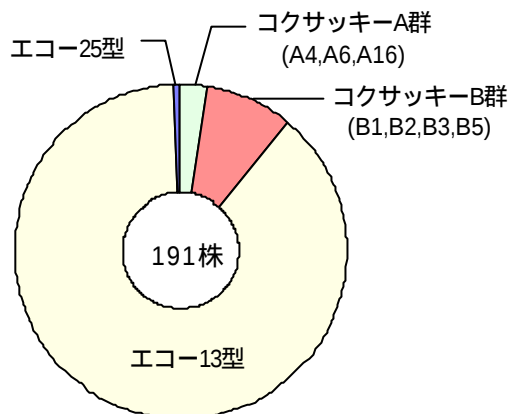
(注1)成人麻疹を除く (注2)日本脳炎を除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	住所	発症 年月日	検査材料	検出病原体
急性咽頭炎	0	男	東区	2002/07/17	咽頭拭い液	コクサッキーB3型

(検査情報) 広島市におけるエンテロウイルス分離状況 (2002年 1月～9月)

2002年のエンテロウイルスは9種類の血清型が191株分離された。その主な血清型はエコー13型で169株(88.5%)が5月～8月に分離された。分離陽性者の臨床診断名は無菌性髄膜炎が132人(78.1%)と最も多く以下、咽頭炎などの呼吸器疾患が10人、胃腸炎などの消化器系疾患が9人の順に多かった。



エンテロウイルス分離状況

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2002年第40週(9月30日～10月6日)